



なぎさ

小松市立安宅小学校 学校だより

NO. 18

令和4年3月22日

校長 広見 理恵

一年間ありがとうございました



先日の一週間にわたる休校には、保護者の皆様もさぞ驚かれ、対応に苦慮されたことと思います。急なコロナ感染状況の悪化により、市教委の指示のもと行った休校でしたが、宿題の配布やオンライン授業への対応など、様々なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

画面の向こうにいる子どもたちは、やはりいつも学校で見る子どもたちとはどこか違っていましたが、こうしてオンラインでも授業が行えることにも驚きでした。ですが、一人一人を見取るということになると、対面授業には遠く及びません。やはり直接顔を合わせて、呼吸を合わせて、教師と児童が授業を創っていくことの大切さに改めて気づかされました。

休校あけからは、欠席者も日に日に減っていき、今はかなり落ち着いている状況です。ですが、感染対策は怠ることなく、今後も続けていく必要があると思っています。

思えば、着任して以来この二年間は、コロナ対策を考え続けている二年間でした。今年も5月と3月の二回に渡る休校があり、保護者の皆様には本当にご心配をおかけしました。子どもたちにとっても制約の多い一年でしたが、そんな状況においても、楽しみを見出し、明るく日々を過ごす、安宅っ子の笑顔とたくましさには本当に感謝しています。コロナの時代を生きぬくために必要な「しなやかさ」と「たくましさ」という生きる力を、今後も育てていきたいと思っています。

時期が来たから次の学年に上がるのではなく、きちんと今の学年の学びと自分や友達の成長を自覚し、上学年への意識を高めながら、進級してほしいと願っています。

この一年、保護者の皆様には多大なご協力を賜りありがとうございました。心より感謝申し上げます。

六年生を送る会

休校で、延期になっていた6年生を送る会ですが、十四日(月)にやっと実施することができました。密を避けるため、各学級でオンラインでそれぞれの学年の出し物を参観しました。どの学年も、6年生への感謝が伝わる素敵な出し物ばかりでした。



6年生だけは、5年生が飾りつけてくれた体育館で、1・2組合同で鑑賞しました。1・2年のかわいらしい発表は笑顔いっぱい、3年のクイズでは楽しく問題に答えながら、4・5年生の工夫された楽しい出し物では大爆笑で参観していました。最後は、5年生の拍手の中、笑顔で退場した6年生でした。

卒業おめでとう ～「いのちの歌」が心にしみいる あたたかな卒業式～

3月17日(木)、令和三年度卒業証書授与式が行われました。密を避けるため、4・5年生が在校生代表として式に参加し、1～3年生は教室でのリモート参加となりました。

卒業生の堂々とした入場につき、証書授与も全員立派に行われ、授与の最初の□さん、最後の□くん、また記念品受取の□さんや寄贈品贈呈の□くんも、落ち着いた、かつ堂々とした所作で、立派に卒業生としての態度を示すことができました。

5年□さんと□くんの感謝を込めた送辞のあと、卒業生の歌と言葉です。卒業生全員が凛とした張りのある声で、自分の思いを言葉にして伝える姿に胸をうたれました。そして何より素晴らしかったのが、卒業生の歌です。「いのちの歌」の歌詞をかみしめ、言葉に思いをのせて懸命に歌う卒業生の美しい歌声と姿のすばらしさには、最後まで安宅小自慢の最高学年であったと、感無量でした。どんな状況下においても、明るさと笑顔を忘れず、常に最高学年として下学年のよき見本であり続けてくれた卒業生の姿に、「ありがとう」の思いが体育館に満ち溢れた、あたたかな卒業式でした。

在校生の態度も立派で、特に5年生の準備片付けの意欲の高さは頼もしかったです。来年も「みんなから憧れられる安宅小の最高学年」を目指し、頑張ってくれることを期待しています。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。母校安宅小学校は、いつまでも皆さんの心のふるさとです。

